

楽²ライブラリ パーソナル スタートアップガイド

このスタートアップガイドは、楽²ライブラリのインストール方法、基本的な操作方法について説明しています。

楽²ライブラリの応用的な機能について知りたいときは、ヘルプまたは「ユーザーズガイド」を参照してください。

楽²ライブラリのエクスポート機能によって生成された「ビューア付きデータファイル (*.exe)」は、個人的な範囲を超える使用目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを通じて配信することは禁止されています。



a Fujitsu company

インストールする ①

インストールは、楽²ライブラリのインストールと、楽²ビューア（ビューア画面）のインストールの2ステップあります。

楽²ライブラリをインストールしたあと、続けて、楽²ビューアをインストールします。



- インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- 旧版の楽²ライブラリをお使いのお客様は、インストールする前に、旧版をアンインストールする必要があります。詳細は、「ユーザーズガイド」を参照してください。

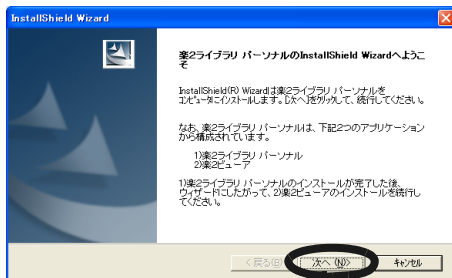


1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。



インストールを開始する画面が表示されます。

2. [次へ] ボタンをクリックします。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

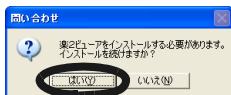
楽²ライブラリのインストールが完了すると、「InstallShield Wizard」の画面が表示されます。

4. [完了] ボタンをクリックします。

楽²ビューアのインストールに関するメッセージが表示されます。

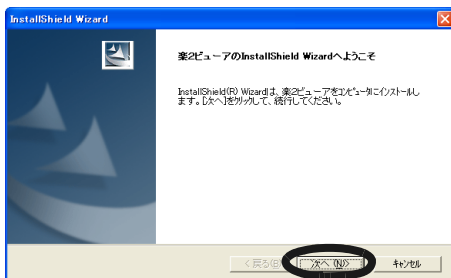
インストールする ②

5. [はい] ボタンをクリックします。



楽²ビューアのインストールを開始する画面が表示されます。

6. [次へ] ボタンをクリックします。



7. 表示される画面に従って、インストールを進めます。


8. [完了] ボタンをクリックします。

9. Windows[®] 98 または Windows[®] Me の場合、プリンタのプロパティ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

再起動を要求された場合、コンピュータを再起動してください。

これで、インストールは完了です。




インストールが完了すると、デスクトップ上に、楽²ライブラリのプログラムアイコン () が作成されます。

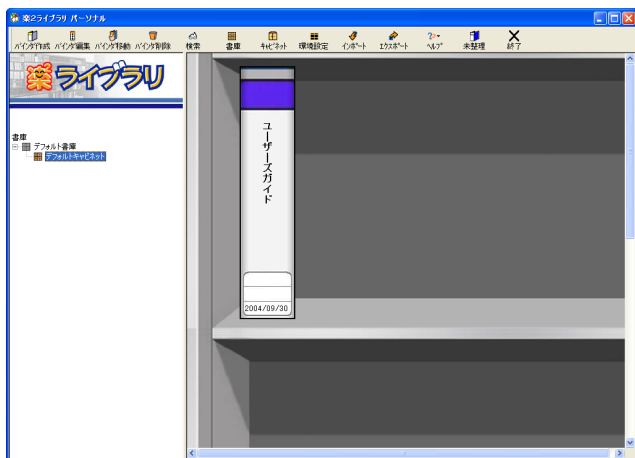
楽² ライブラリを起動する

楽² ライブラリを起動します。



1. デスクトップ上に作成された楽² ライブラリのプログラムアイコン () をダブルクリックします。

楽² ライブラリの画面 (バインダ管理画面) が表示されます。



データの入れ物を準備する ①


楽²ライブラリを使うには、まず、データを管理するための入れ物（「書庫」「キャビネット」「バインダ」）を作成する必要があります。書庫の中にキャビネットを作成し、キャビネットの中にバインダを作成します。

- 書庫は最大 6 個作成できます。
- 1 つの書庫の中に、最大 20 個のキャビネットを作成できます。
- 1 つのキャビネットの中に最大 21 個のバインダを作成できます。
- 1 個のバインダで最大 500 ページ管理できます。
- 書庫、キャビネット、バインダには、それぞれ任意の名前を設定できます。

書庫を作成する

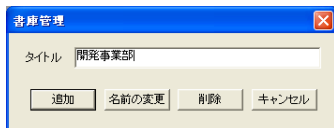
キャビネットを管理するための書庫を作成します。



1.  をクリックします。

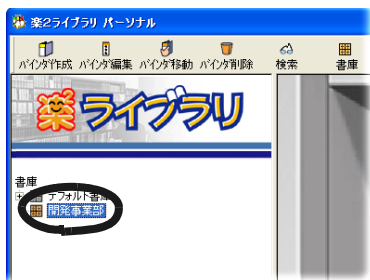
[書庫管理] ダイアログボックスが表示されます。

2. 作成する書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



3. [追加] ボタンをクリックします。

書庫が作成されます。



次に、作成した書庫の中に、キャビネットを作成しましょう！

データの入れ物を準備する ②

キャビネットを作成する

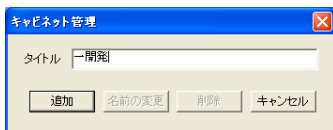
① で作成した書庫の中に、キャビネットを作成します。



1.  をクリックします。

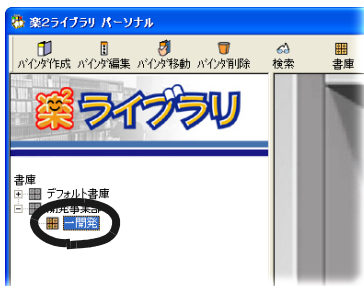
[キャビネット管理] ダイアログボックスが表示されます。

2. キャビネットの名前を全角 16 文字 (半角 32 文字) 以内で入力します。



3. [追加] ボタンをクリックします。

書庫にキャビネットが作成されます。




次に、作成したキャビネットの中に、バイндаを作成しましょう！

データの入れ物を準備する ③

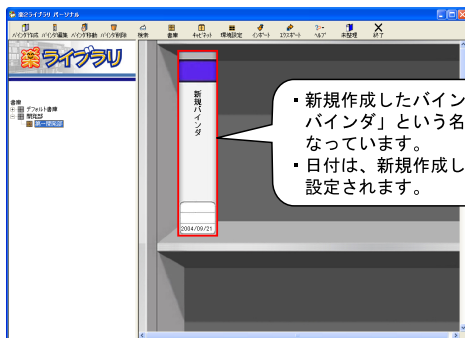
バインダを作成する

2 で作成したキャビネットの中に、バインダを作成します。



1.  をクリックします。

キャビネットに、バインダが作成されます。



次に、バインダの名前（タイトル）や日付などを変更しましょう！

データの入れ物を準備する 4

バインダを編集する

3 で作成したバインダに対して、名前（タイトル）や日付を変更します。



1. バインダ（新規バインダ）を選択します。



- バインダの背表紙をクリックすると、バインダが選択されます。
- バインダを選択すると、バインダが赤い枠で囲まれます。

2. をクリックします。

[バインダの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を設定します。

ここでは、以下のような情報を設定してみます。

バインダの編集

タイトル: (1列目) 企画書 ※画面上では、各列12文字まで表示されます。
(2列目)

管理情報

上段: 開発

中段: 資料

下段(日付): 2004/09/30

ラベル色: 黄

ラベル文字: 開発

開き方向: 左から開く 右から開く

目次: あり なし

未読一覧: あり なし

ページ内の余白: あり なし

キーワード:

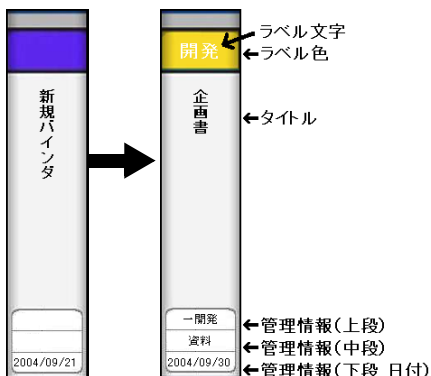
データ管理形式を分割モードにする (ネットワーク運用時に有効)

OK キャンセル ヘルプ(?)

データの入れ物を準備する 5

4. [OK] ボタンをクリックします。

設定内容に従って、バインダが編集されます。



これで、データを格納するためのバインダが準備できました。

次に、作成したバインダの中にデータを格納してみましょう。

- 電子データを取り込む場合は、「Word のデータを取り込む」(10 ページ)に進んでください。
- ScanSnap で原稿をスキャンして読み取る場合は、「ScanSnap から原稿を読み取る」(11 ページ)に進んでください。



ScanSnap 以外の TWAIN 対応のスキャナで原稿をスキャンして読み取る場合については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ScanSnap から原稿を読み取る ①

ScanSnap (fi-5110EOX、 fi-5110EOX2) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。

楽²ライブラリと ScanSnap を連携する

ScanSnap で原稿を読み取る場合、まず、楽²ライブラリと ScanSnap を連携するための準備が必要になります。

この操作は、一度おこなえば、次回以降は不要です。



1. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、「楽²ビューア」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



fi-5110EOX2 では、バインダ管理画面を起動すると、自動的に [アプリケーションの選択] が「楽²ビューア」に切り替わります。

次に、読み取り操作をおこないます。

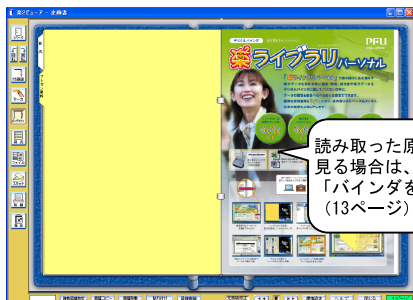
ScanSnap から原稿を読み取る ②

読み取り操作をおこなう



1. 9 ページで作成したバインダ(企画書)をダブルクリックして、ビューア画面を表示します。
2. ScanSnap に原稿をセットします。
3. ビューア画面が最前面に表示された状態で、ScanSnap の読み取りボタンを押します。

読み取りが実行され、原稿がバインダに追加されます。





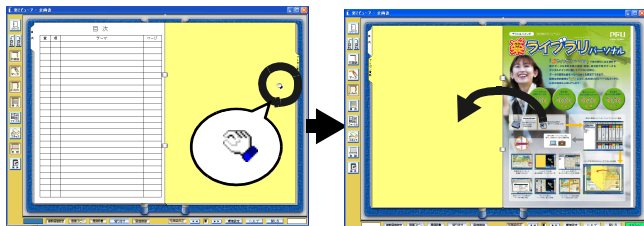
続けて別の原稿をスキャンする場合、手順「2.」～手順「3.」を繰り返します。この場合、現在表示されているページの前にデータが追加されます。

バインダを閲覧する

バインダに格納したデータを閲覧します。



1. ページの左端または右端にマウスポインタを移動し、マウスポインタがまたはになったときにクリックします。ページがめくられます。



連続して自動でページをめくることができます。
詳細は「ユーザーズガイド」を参照してください。

次のステップに進みましょう！

楽²ライブラリを終了する

楽²ライブラリを終了します。



1. ビューア画面の  をクリックします。

バインダ管理画面に戻ります。

2. バインダ管理画面の  をクリックします。

楽²ライブラリが終了します。



ディスプレイの解像度が 800 × 600 ピクセルの場合、

ビューア画面の  ボタン、バインダ管理画面の



ボタンは画面に表示されません。

ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックして終了してください。



これで、楽²ライブラリの基本操作は終了です！

楽²ライブラリでは、ここで紹介したもの以外にも、便利な機能がたくさんあります。

詳細は「ユーザーズガイド」またはヘルプを参照してください。

困ったときには

楽²ライブラリの操作中にトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

楽²ビューア（ビューア画面）をインストールしたときに、「ドライバのインストールに失敗しました。」のメッセージが表示される。
また、画像形式以外のファイル取り込みができない。
（Windows[®] XP、Windows[®] 2000 Professional の場合のみ）

以下の手順で「Raku2 ImageWriter」をインストールしてください
（オペレーティングシステムによって、ボタン名や選択項目名が異なります）。

1. コンピュータを再起動します。
2. [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プリンタとFAX]を選択し、[プリンタの追加]をクリックします。
プリンタの追加ウィザード画面が表示されます。
3. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
4. 「プリンタポートの選択」の画面で「次のポートを使用」を選択し、ポートのリストから「LPT1 : (推奨プリンタポート)」または「Raku2Port」を選択します。
5. [次へ]ボタンをクリックします。
6. 「プリンタソフトウェアのインストール」の画面で、[ディスクを使用]ボタンをクリックし、CD-ROMドライブの「RkImageWriter」フォルダ内の「RkImageWriter.inf」を選択します。
7. ウィザード画面に従って、操作を進めます。
8. ハードウェアのインストール画面が表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。

これで、プリンタに「Raku2 ImageWriter」が追加されます。

ファイルの取り込み時、正常にデータが取り込まれない。

対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。
アプリケーションを終了してからファイル取り込みしてください。

ファイルの取り込みに時間がかかる

ビューア画面で、次のいずれかの対処をしてください。

- [動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブの「解像度」を、低く設定してください（推奨値は 200dpi です）。
- [動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブの「色数」を、「モノクロ」にしてください。

その他の困ったことについては、「ユーザズガイド」を参照してください。



a Fujitsu company

楽²ライブラリ パーソナル
スタートアップガイド

P2WW-1813-01

発行日 2004年11月

発行責任 株式会社 PFU

Printed in JAPAN

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の
権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
無断転載を禁じます。